

## ■ 編集だより

## 編集後記

安倍晋三首相は2020年5月4日、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言を5月31日まで延長すると表明した。NHK（日本放送協会）のまとめによると、5日午前10時半時点で、日本国内の同ウイルス感染者数1万5253人、それにより不幸にも死亡された方は556人となっている。この場をお借りして、新型コロナウイルス感染症に苦しんでおられる方々のご全快を願います。また、亡くなられた方おひとりおひとりのご冥福をこころよりお祈り申し上げます。

日本精神神経学会からは、神庭重信理事長より4月21日、「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する理事長声明」が発表され、かつ、本学会災害支援委員会より、「精神医療における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策について ver. 1」が5月1日から発信され、本学会サイトで一般の方も閲覧できる。同時に本学会では、COVID-19に関連したメンタルヘルス上の重要情報を収集し、下記のウェブサイトで国民の皆様提供している（URL：[https://www.jspn.or.jp/modules/advocacy/index.php?content\\_id=78](https://www.jspn.or.jp/modules/advocacy/index.php?content_id=78)）。

本誌（第122巻第6号）発行時に、延長された上述の緊急事態宣言が宣言期間内に解除されているどうかは不明であるが、ご承知のように、本年6月開催予定だった第116回日本精神神経学会学術総会は、9月28日（月）～9月30日（水）〔会場：仙台国際センター（確定）および東北大学川内萩ホール（予定）〕に延期され、WEB配信が追加される予定である。矢部博興学総会長はじめ関係者の方々のご苦勞、ご心勞はいかばかりかと推察される。確か2011年3月の東日本大震災の折は、第6回日本統合失調症学会が丹羽真一学会長のもと福島県立医科大学主催で開催される予定が、同年7月札幌実施に延期された。無事延期開会までごぎつめた当時の関係者のご尽力が想起されるが、116回目の本学会学術総会がWEB配信も併せて、9月につつがなく開催されることを祈念する。

ちなみに本編集委員会も数年前より、WEB会議参加が可能であり、それを利用していた編集委員も毎回何人かおられたが、本年3月からは原則全員WEB会議での出席である。慣れない編集子もおずおずと参加せざるを得ない。また、ご案内のように、4月6日より新型コロナウイルス感染防止のため、当面の間、事務局職員を在宅勤務とした事務局体制とさせていただいている。学会事務局も閉鎖中である。当然電話での対応が不可能なので、お問い合わせはメールでの対応となることをお願いしている。ご不便をおかけするが、現下の情勢をご理解いただき、どうかご容赦いただきたい。ただ、これも本誌発行時には緊急事態宣言が解除され、事務局体制が復帰していることを願うばかりである。

新型コロナウイルスが日本国内で初めて感染確認された1月16日以来、会員各位におかれては、それぞれの立場で Albert Camus 著「ペスト」(La Peste) の主人公ペルナル・リウー医師さながらに、ご自身の職務を誠実に果たされたことだろう。編集子の勤務する病院でも、患者・職員より院内感染者を出さぬよう、また、外部から新型コロナウイルスを持ち込ませぬよう細心の注意を払っている。国立精神医療施設長協議会（国精協）では女屋光基会長の主導により、所属する各病院のCOVID-19への対応方針を情報として共有できるようになった。あの病院では、ここはどうしているのかと具体的に知ることができ、ありがたい。PCN誌では、COVID-19関連論文がオープンアクセスで掲載され、会員全体に周知された。本誌でも何か工夫ができぬか模索中である。

西岡和郎